

台風第16号で記録した潮位について
—12地点で過去の最高潮位を更新しました—

平成24年9月15日から18日にかけて、西日本を中心に影響を及ぼした台風第16号では、過去に記録した最高潮位を上回る潮位を観測し、各地で高潮による被害が発生しました。最高潮位（速報値）を更新した地点と発生時刻、台風を中心位置を別紙に示します。

台風第16号は、沖縄本島付近を通過した後、九州からは比較的離れた東シナ海上を北上しましたが、17日9時には九州各地で最高潮位を更新しました。この要因としては、以下の4つの条件が重なったことがあげられます。

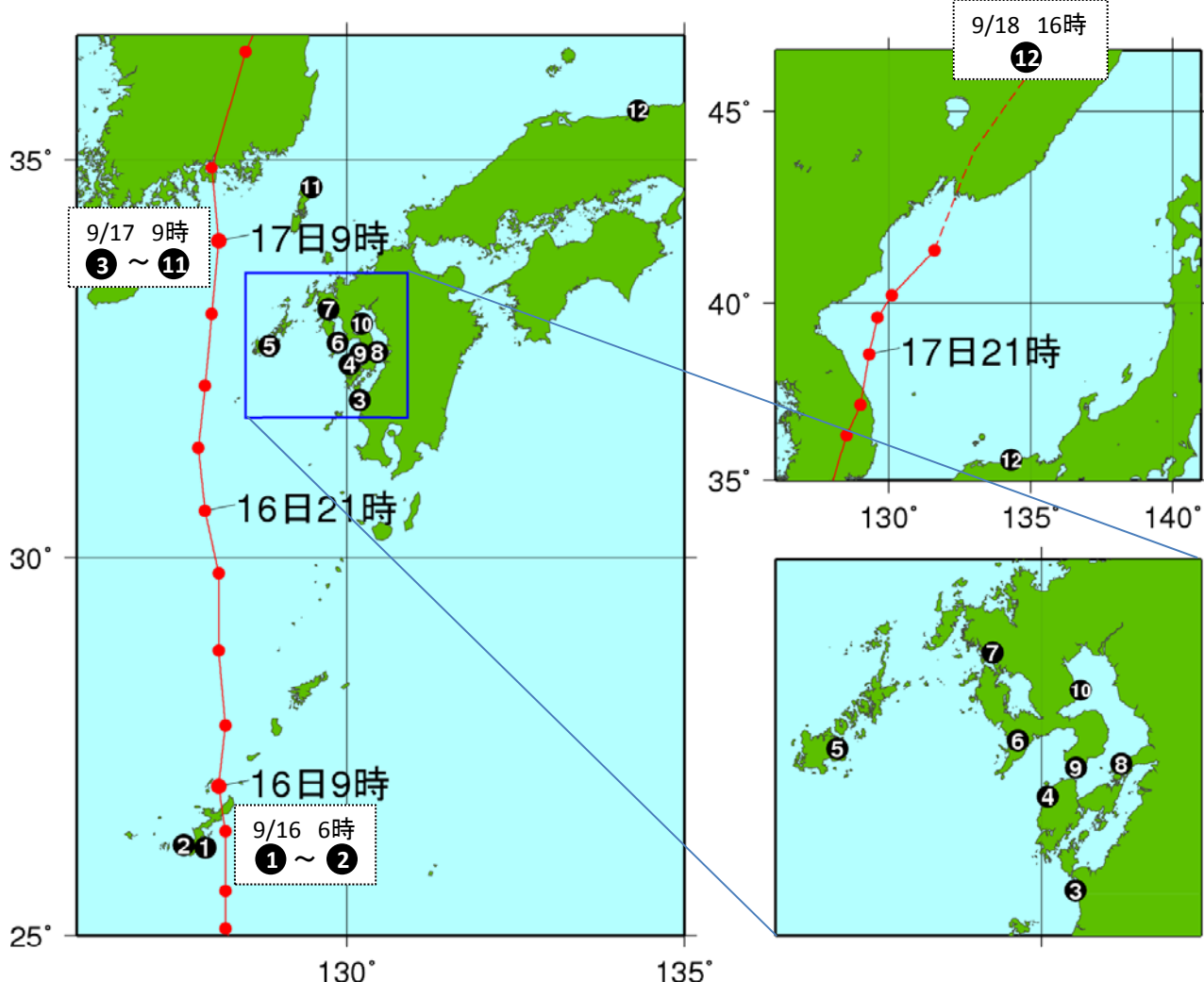
- ① 海水温が高いことなどにより一年の中で最も潮位が高くなる時期
- ② 16日が新月で大潮
- ③ 台風通過時間帯が満潮時間帯
- ④ 台風による吸い上げ・吹き寄せ効果

また、日本海側では台風が最も接近した時刻から半日以上経過した後、最高潮位を記録した地点がみられました。これは、山陰付近で台風の影響による南西風が持続したことにより海水が沿岸方向に寄せられたことで一時的に高まった潮位が、その後、岸に沿って東に移動したことによって記録されたと推定されます。

別添参考資料：高潮の主な原因と注意すべきこと

【本件に関する問合せ先】 地球環境・海洋部海洋気象課（内線 5149）

平成24年9月15日～18日に最高潮位を更新した地点と台風第16号の経路



赤色の線は台風第16号の経路(点線部は温帯低気圧に変わった後の経路)。
黒丸の数字は最高潮位を更新した地点。数字は下の表の番号に対応。

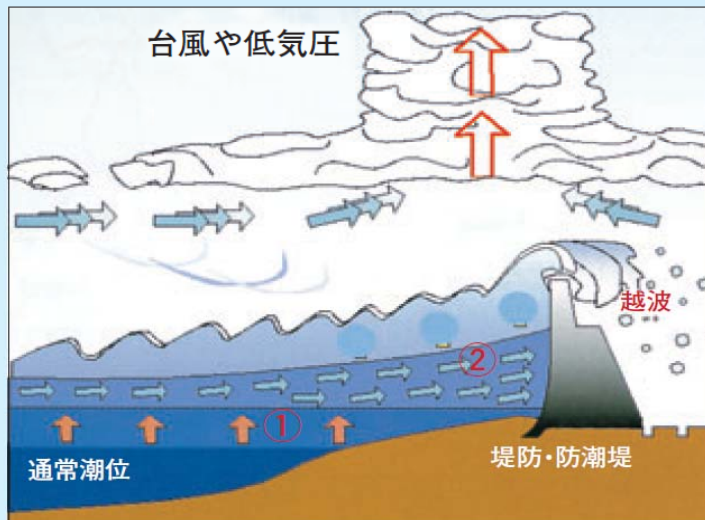
最高潮位を更新した地点一覧（値は平成24年9月20日時点の速報値）

観測点	都道府県	最高潮位		これまでの最高潮位*		
		標高 (cm)	発生時刻	標高 (cm)	年月	
① 沖縄(国土地理院)	沖縄	174	9月16日 05時46分	158	2007年7月	台風第4号
② 那覇	沖縄	174	9月16日 06時53分	148	1997年8月	台風第13号
③ 阿久根(国土地理院)	鹿児島	211	9月17日 08時14分	203	2004年8月	台風第16号
④ 苓北	熊本	225	9月17日 08時22分	202	2011年9月	大潮
⑤ 福長	長崎	178	9月17日 08時27分	176	1975年9月	大潮
⑥ 長崎	長崎	219	9月17日 08時29分	184	1975年9月	大潮
⑦ 佐世保(海上保安庁)	長崎	220	9月17日 08時52分	218	1959年9月	台風第14号
⑧ 三角	熊本	290	9月17日 09時26分	258	2004年8月	台風第16号
⑨ 口之津	長崎	250	9月17日 09時28分	201	2011年9月	大潮
⑩ 大浦	佐賀	346	9月17日 09時34分	322	2000年7月	台風第6号
⑪ 対馬比田勝	長崎	99	9月17日 09時47分	97	1985年8月	台風第13号
⑫ 田後(国土地理院)	鳥取	101	9月18日 15時49分	97	2010年8月	台風第4号
				99	2004年8月	台風第15号

* 当時の標高で記載しています。

高潮の主な原因と注意すべきこと

高潮はなぜ起こるの？



①気圧低下による吸い上げ

台風や低気圧の中心付近では、気圧が低いため、その部分の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。

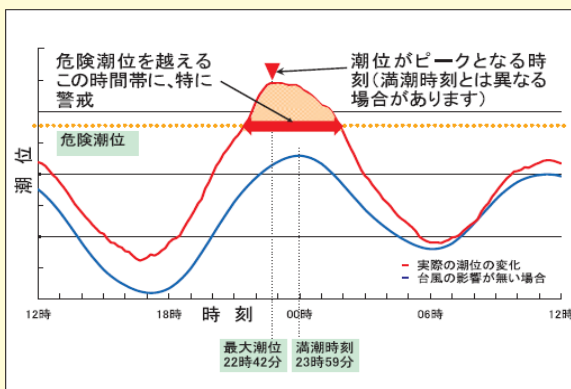
気圧が1hPa低くなると、海面は約1cm上昇します。

②風による吹き寄せ

台風などによる強風が沖から海岸に向かって吹くと、海水が海岸に吹き寄せられ、海面が上昇します。

また、台風の接近に伴い風で大きな波も発生して、海面がさらに高くなります。

どんな時が、特に危険なの？



●台風が接近・上陸しているとき。

●満潮時刻はもちろん、満潮時刻の前後数時間は、潮位が短時間のうちに異常に上昇することがあります。

このような時は以下の情報が発表されます。

- ・気象台から高潮警報
- ・市町村長から避難情報

※危険潮位とは、その潮位を超えると、海岸堤防等を越えて浸水の恐れがある高さのことです。